

工事店様用

全量買取向け

ZMPMCD

エコめがね

モバイルパックマルチコネクト

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

デルタ電子製 パワーコンディショナ用 Ver1.6

SV センサ設定ツール 設定内容

<PCS メーカー> デルタ電子
<PCS 型式> 「RPI-H4J/4.5J/5.5J/6J/10J」

対象型式 :	RPI H5.5J(P)
RPI H4J(P)	RPI H6J(P)
RPI H4.5J(P)	RPI H10J

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがねモバイルパックマルチコネクタ（以下 モバイルパックMC）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

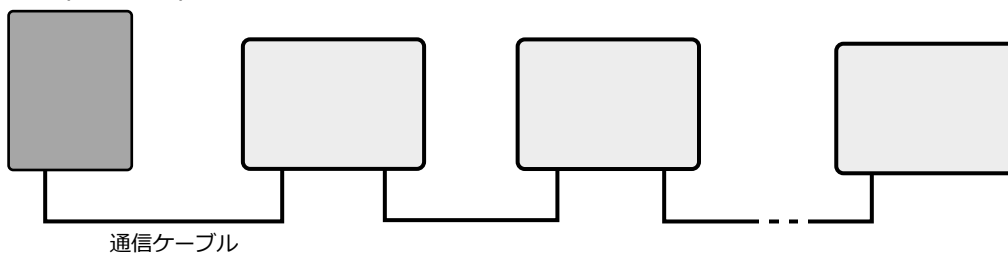
※ 型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。

https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html

<注意> モバイルパックMC とデルタ電子製パワーモニターと併設でご利用いただくことはできません。

RPI H10J 5 台接続時 構成例

モバイルパックMC	パワーコンディショナ 1	パワーコンディショナ 2	パワーコンディショナ 5
終端抵抗：ON (出荷時状態)	機器 ID：1 終端抵抗：OFF	機器 ID：2 終端抵抗：OFF	機器 ID：5 終端抵抗：ON



3. パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルの作成

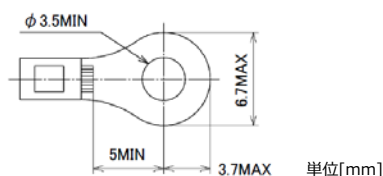
3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材、工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3.5 [※]	2 個
絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV-NC 0.65 mm-1P(市販品)	1 本
絶縁テープ	-	必要な長さ

※丸型圧着端子 適合サイズ (モバイルパック MC 通信線端子台側)



<参考>パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブルに必要な部材については以下に記載します。
パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV-NC 0.65 mm-1P(市販品)	(PCS 台数-1)本

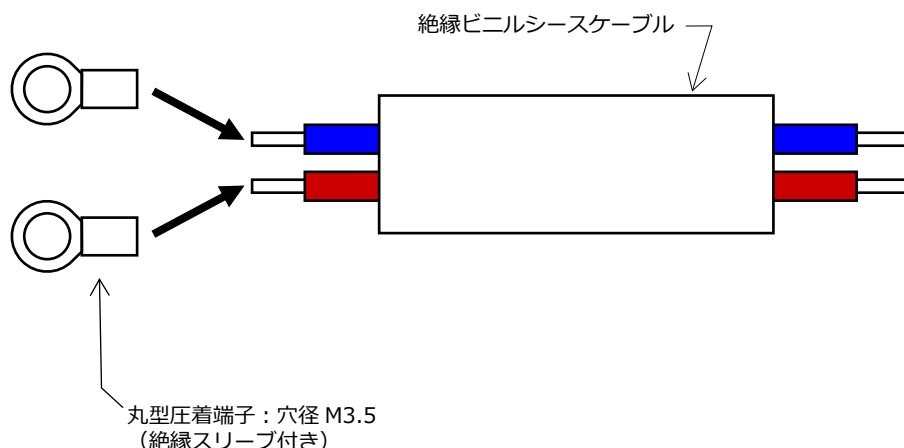
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
ペンチ	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの	1

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さの絶縁ビニルシースケーブル (FCPEV-NC 0.65mm-1P) を用意し、片側の配線に丸端子(M3.5)を圧着してください。



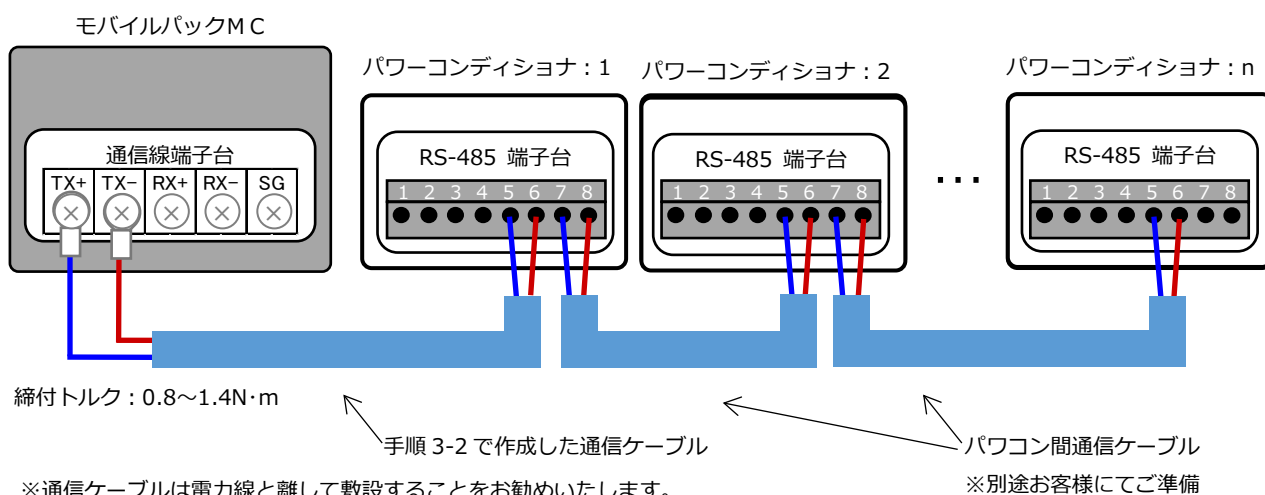
4. 通信ケーブルの取付け方法

<注意> 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

手順 3-2 で加工したケーブルで、モバイルパックMCの通信線端子台とパワーコンディショナのRS-485 端子台とを接続してください。また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

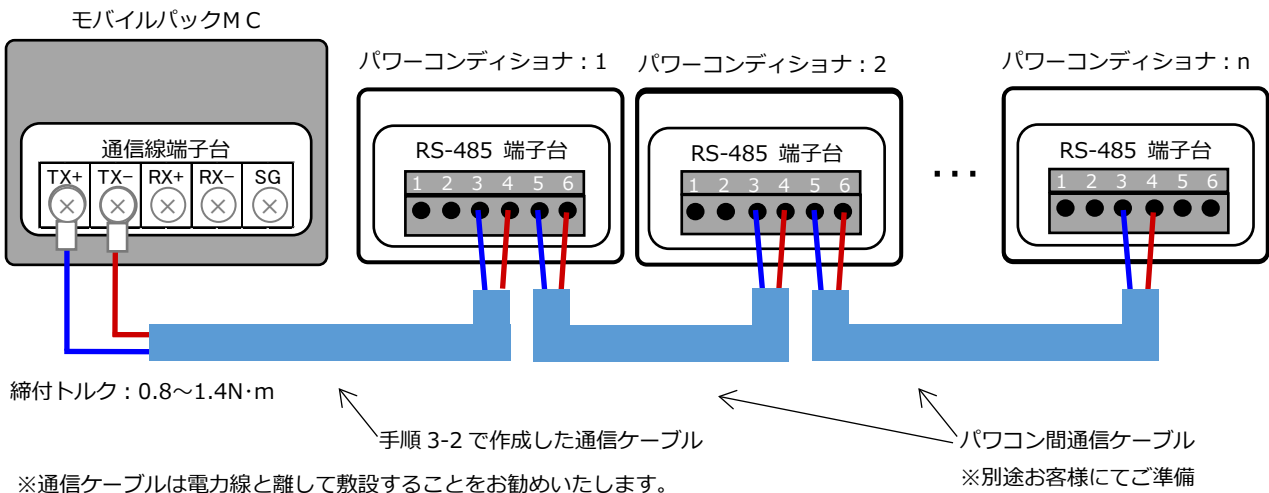
●ケーブル取付け全体図

RPI H10J をご利用の場合



●ケーブル取付け全体図(つづき)

RPI H10J 以外のパワーコンディショナでご利用の場合



●結線対応表

RPI H10Jにてご利用の場合

モバイルパックMC 通信端子台	パワーコンディショナ RS-485端子台	
信号名	端子番号	信号名
TX+	5	DATA+
TX-	6	DATA-

RPI H10J以外のパワーコンディショナにてご利用の場合

モバイルパックMC 通信端子台	パワーコンディショナ RS-485端子台	
信号名	端子番号	信号名
TX+	3	DATA+
TX-	4	DATA-

5. その他

5-1. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサの終端抵抗及び、パワーコンディショナの整合抵抗を設定してください。

<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。
パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターン A (推奨)】モバイルパック MC が通信経路上の終端に設置されている場合

・モバイルパック MC :

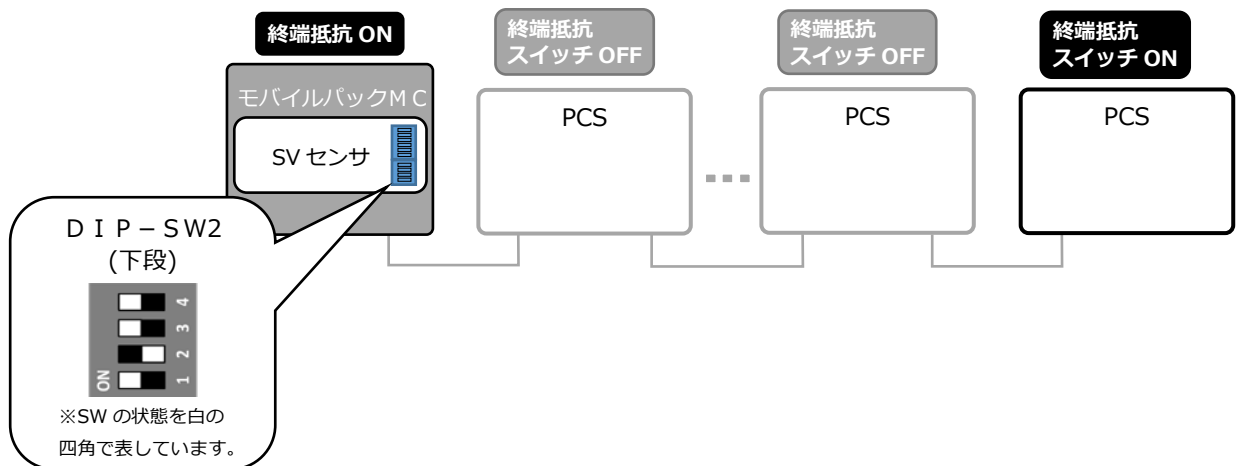
SV センサの終端抵抗設定を有効 (DIP-SW2 No.1 を ON) に設定してください。

・パワーコンディショナ :

通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチは OFF に設定してください。

具体的な終端抵抗の設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアルを参照してください。

● 終端抵抗の設定 (パターンAの場合)



【パターンB】モバイルバックMCが通信経路上の終端に設置されていない場合

・モバイルバックMC：

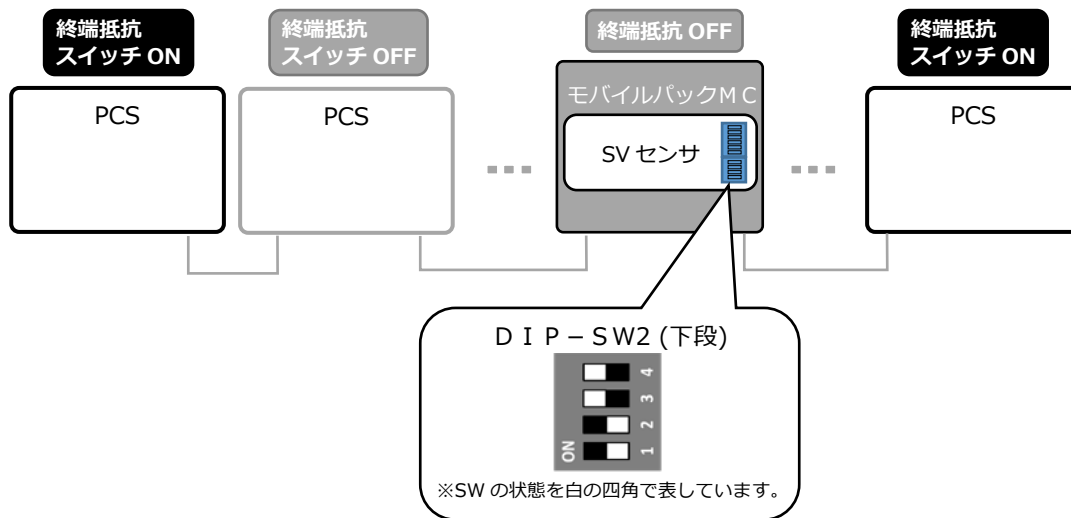
SV センサの終端抵抗設定を無効（DIP-SW2 No.1 を OFF）に設定してください。

・パワーコンディショナ：

通信線上の終端にある2台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチは OFF に設定してください。

具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアルを参照してください。

●終端抵抗の設定（パターン B の場合）



5-2.機器ID(局番)の設定

パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等に従い、パワーコンディショナの機器ID(局番)を設定してください。

※ 機器ID(局番)は1～9の範囲で設定してください。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年未年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。